

令和6年度

イノベ構想と県北地方の人・企業つながりづくり事業
「企業の魅力体感親子ツアー」
実施結果

令和6年12月19日（木）

福島県

県北地方振興局企画商工部

1 親子体験ツアーの実施

【実施内容】

県北管内の小学生（5，6年生）から中学生及びその保護者を対象とし、次世代産業やイノベ分野などにチャレンジしている地域企業での体験・見学や県北地方の魅力に触れる体験ができるバスツアーを実施。

【ツアー概要】

- 最先端ウェアラブルIoT製品体験コース 全1回 参加者：20名（10組）8月7日
- 水素エネルギー体験コース 全1回 参加者：17名（9組）9月7日
- 空のお仕事体験コース 全2回 参加者：49名（25組）11月16日

全4回 参加者：86名（44組）

【行程】

《①次世代産業等企業体験イベント》→② 昼食
→《③県北地方の魅力に触れる体験》

※①と③は入れ替わる場合あり

【チラシ】



2 最先端ウェアラブルIoT製品体験コース

【コース概要】

- ① ミツフジ(株)福島工場による
『最先端ウェアラブルIoT製品体験』
- ② (株)向山製作所での昼食& 『お菓子工場見学』



《ミツフジ(株)とは?》

1956年に京都の西陣織の帯工場として創業後、2代目が伝統産業から高機能性繊維開発に事業転換し、3代目が同繊維の導電性に着目したウェアラブル製品の開発を行っている川俣町の企業です。現在では医療機器としてのシャツ型製品と、法人向けのリストバンド型や腕時計型の製品の開発、製造、販売を行い、様々な社会課題の解決を目指す取り組みを実施しています。

《(株)向山製作所とは?》

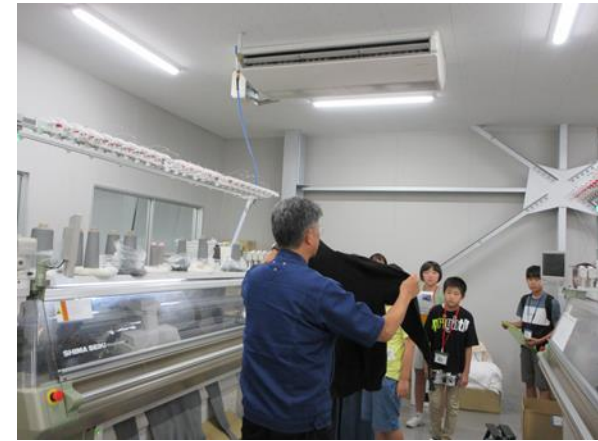
大玉村を本社として元々電子機器の製造を行っていましたが、フード事業部を立ち上げ、洋菓子の製造・自社店舗の運営・菓子販売定番の生キャラメルやプリンをはじめ、焼菓子、ギフト商品、ケーキ、ジェラート等幅広く製造しております。企業や地域と連携し特産物を使用したオリジナル商品の開発、商品化も手がけています。

2-1 最先端ウェアラブルIoT製品 体験コース

【次世代産業等企業体験イベント】

川俣町のミツフジ(株)福島工場による『最先端ウェアラブルIoT製品体験』にて、体調管理のできるウェアラブル製品開発についての話や、縫製施設見学、糸始末体験、ウェアラブル端末を装着してチェックポイントを巡るスマートシティ体験を実施しました。

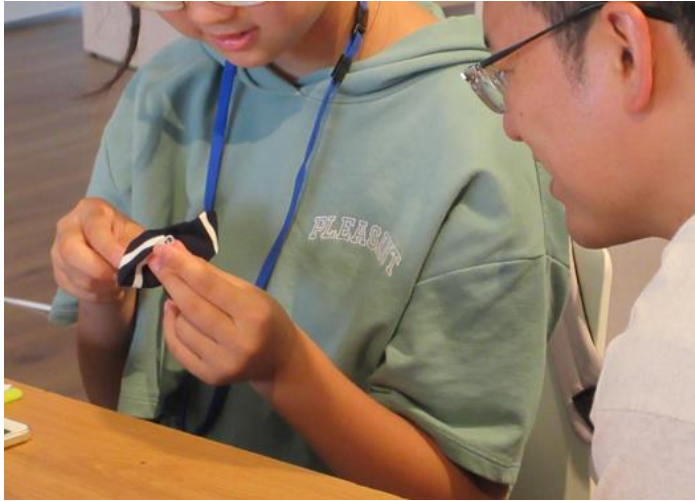
○ 縫製施設の見学



ほとんど機械化されている縫製工場を見学しました。機械による縫い目のない縫製が可能で、型紙からの縫製と違い布等にムダが生じないことが特徴的です。

2-2 最先端ウェアラブルIoT製品 体験コース

○ 糸始末体験・スマートシティ体験



ほとんど機械で縫製できますが、最後の糸始末だけは人の手が必要です。その、糸始末を体験しました。また、開発したウェアラブル端末を装着し、体調管理をしながら施設内のチェックポイントをヒントを頼りに巡りました。

2-3 最先端ウェアラブルIoT製品 体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験】

(株)向山製作所の協力により、お菓子工場の見学を実施

フード事業部を立ち上げ、洋菓子の製造・カフェや店舗の運営をしている話を聞き、菓子販売定番の生キャラメルや焼菓子、ケーキ、ジェラート等の製造過程を見学しました。



3 水素エネルギー体験コース

【コース概要】

- ① ネットトヨタ福島(株)による『水素エネルギー体験』
- ② 本宮市『ネーブルシティもとみやaube』での昼食
- ③ 神楽工房はしもとによる『塗り箸研ぎ出し体験』



《ネットトヨタ福島(株)とは?》

福島市で自動車の販売や点検・整備などを行っている企業です。環境にやさしく、様々なものを作り出す可能性のある水素エネルギーにも注目しており、研究・開発を進めています。最近では水素自動車「MIRAI」などを用い、水素について知ってもらう取り組みにも力を入れています。今回は水素ステーションができた本宮市で実施しました。

《神楽工房はしもとは?》

伝統芸能で用いられるお面や、革製品の作成などに取り組んでいる二本松市の企業です。今回体験したような「塗り箸研ぎ出し体験」も実施しています。二本松提灯祭りの太鼓台の整備といった伝統技術の継承はもちろんのこと、海外向けにも情報発信をしたり、革新を続けている工房です。

3-1 水素エネルギー体験コース

【次世代産業等企業体験イベント】

福島市のネットヨタ福島(株)による『水素エネルギー体験』を実施し、水素ミニカー走行体験と燃料電池自動車の見学をしました。

○ 水素ミニカー体験



精製水を電気分解して発生させた水素を利用して、水素ミニカーを走らせてみました。本物の水素自動車と同じように走行後に水が発生していました。

3-2 水素エネルギー体験コース

○燃料電池自動車の見学



燃料電池自動車を見学し、実際に車にも乗ってみました。
また、水素自動車の仕組みを教えてくださいました。
走っていても水しか出ないエコな車だということや、電気を作ること
もできる車という説明をしてもらいました。

3-3 水素エネルギー体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験】

二本松市の神楽工房はしもとの協力により、塗り箸の研ぎ出しを体験

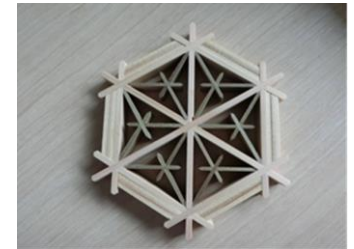
伝統芸能で用いられるお面や革製品の作成、二本松提灯祭りの太鼓台の整備といった伝統技術の継承、革新的な海外向けの発信などの取組みについて話を聞き、漆を塗った箸の研ぎ出しにより、伝統技術の一部を体験しました。



4 空のお仕事体験コース

【コースA概要】

- ① (株)パスファインダーによる『飛行等体験』
- ② 桑折町『上町CHEERS』での昼食
- ③ (有)白井木工所による『伊達組子細工ワークショップ』



《(株)パスファインダーとは?》

福島市の「ふくしまスカイパーク」を拠点に世界で活躍しているエアレースパイロットの室屋義秀さんが代表を務める企業です。「人と大空の架け橋となり、感動を未来に創造する」をモットーに、航空関連の様々な分野で活動されており、「空ラボ」という小・中学生を対象とした学習・体験プログラムなど人材育成にも力を入れています。

《(有)白井木工所とは?》

釘を使わずに木と木を組み合わせ様々な模様を表現する、伝統技術である組子細工。伊達市において、その技術を活用した商品開発や建築をしています。公共施設や木の遊び場など様々な施工例もあります。最近では、従来からの工法だけでなく、3Dプリンターのような最先端の技術を用いた制作も行っています。

4-1 空のお仕事体験コース

【コースB概要】

- ① フクシマフーズ(株)による『いかにんじんご飯作り体験』
- ② 国見町『Trattoria da Martino』での昼食
- ③ (株)パスファインダーによる『飛行等体験』 ※コースA参照

《フクシマフーズ(株)とは?》

「マルちゃん」で有名な東洋水産のグループ会社です。桑折町でレトルト包装米飯や雑炊などの商品製造を行っています。

環境に配慮し、お客様第一の生産活動を行うとともに、食の安心・安全・安定を追求し、常日頃からの徹底した品質管理や、グルメ嗜好に加え風味はもちろん健康と安全性に適合した商品の研究開発に取り組んでいます。



4-2 空のお仕事体験コース

【次世代産業等企業体験イベント】

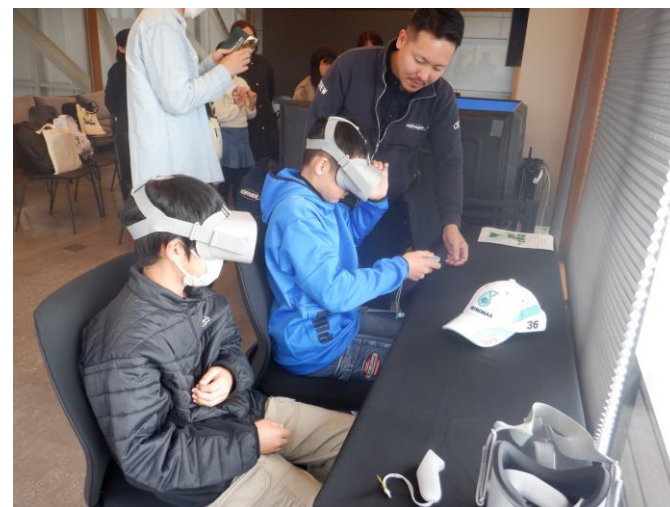
福島市の（株）パスファインダーによる『飛行等体験』を実施し、本物の機体に触れる体験や、フライトシミュレーターやVRによる飛行体験をしました。



航空分野は、「開発・設計」、「素材・部品作成」「組立」「点検・整備」「準備・サポート」「飛行」と様々な仕事があり、それらが組み合わさって成り立っていることなど『航空のお仕事』について、教えていただきました。

4-3 空のお仕事体験コース

○ フライトシミュレーター・VR飛行体験



フライトシミュレーターで福島の空を飛ぶ飛行体験をしました。
操縦方法を教えてもらい、ミッションシートどおりの飛行にチャレンジしました。
高度や速度、方向を調整するのが難しそうでした。
VRは飛行機体の運転席に座って360度見渡せ、本当に飛んでいるようでした。

4-4 空のお仕事体験コース

○ 本物の機体に触れる体験



操縦席に座り、羽根の向きを変え機体の動きを変える方法を教えてもらったり、滑走路に出て飛行機が飛ぶしくみなど、いろいろな質問をしながら教えてもらいました。

4-5 空のお仕事体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験・コースA】

伊達市の(有)白井木工所の協力により、施設見学と伊達組子細工ワークショップを体験。

取組や伊達組子細工の伝統などについて説明をいただいたあと、木を組み合わせ作る伊達組子細工のコースター作り体験と施設の見学をしました。



4-6 空のお仕事体験コース

【県北地方の魅力あふれる体験・コースB】

桑折町のフクシマフーズ(株)の協力により、工場見学といかにんじんご飯作りを体験。

取組や食の安心・安全などについて説明をいただいたあと、いかにんじんご飯作り体験と工場見学により製造工程を知ることができました。



5 親子体験ツアーまとめ①

アンケート結果から

- 知らなかったことを知ることができたことへの満足感・もっと知りたいという探究心につながった
- 体験をやり遂げ自信がついたことやチャレンジすることの楽しさを感じた
- それぞれの企業の技術や取組に対する驚き、地元企業の素晴らしさに気がついた
- 県北地方（福島県）には魅力的な産業があり、身近にも様々なことに挑戦している魅力的な企業があることを知った
- 自分たちも挑戦できる環境があると分かった
- 福島の良いところを自分たちも伝えていきたい



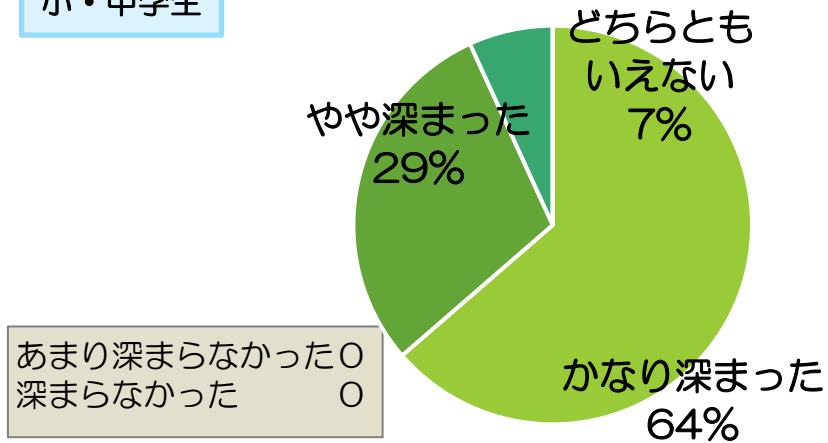
全体的に高い満足度

※体験について「満足」「やや満足」が95%以上

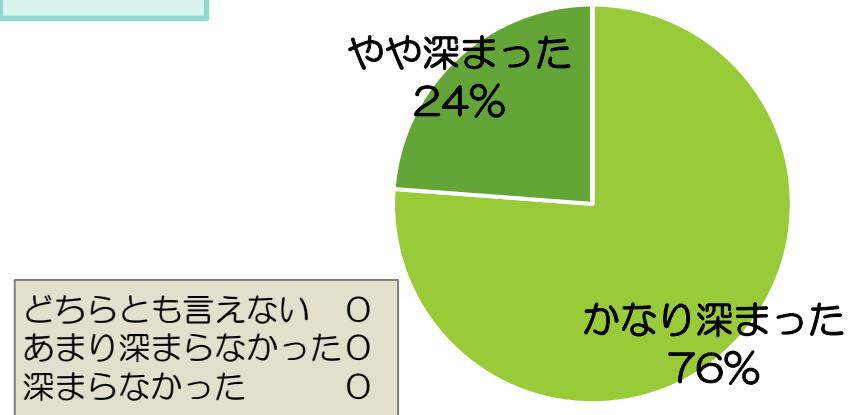
5 親子体験ツアーまとめ②

地域で活躍する企業の仕事への興味・理解は深まりましたか？

小・中学生



保護者

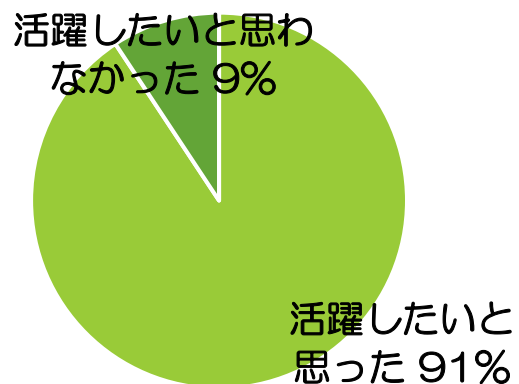


「かなり深まった」「やや深まった」と回答した参加者が、小・中学生では93%、保護者は100%となり、地域企業の仕事に対する興味や理解を深めることができたツアーとなりました。

5 親子体験ツアーまとめ③

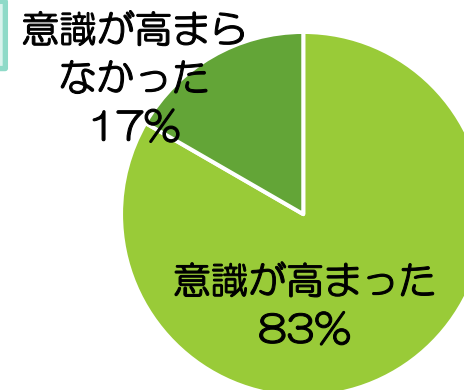
Q県北地方の魅力に触れ、将来的に“福島県で活躍してみたい”と思いましたか。

小・中学生



Q県北地方の魅力に触れ、将来的に子どもたちに福島県で活躍してほしいという意識は高まりましたか。

保護者



既に将来の夢が決まっているという参加者もいましたが、福島県で活躍してみたいと回答した小・中学生が91%もいました。保護者からは、子供の好きな仕事をしてほしいため地域にはこだわらないという意見もありましたが、83%の方から福島の魅力を感じて活躍してほしいという意識が高まったとの回答がありました。